

令和元年度事業報告書

- ・事業報告
- ・事業報告の附属明細書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

一般社団法人 年金総合研究所

東京都千代田区霞が関三丁目2番5号

目 次

I 事業の概要	1
1. 事業に関する事項	1
2. 年金制度・年金運用に関連する情報の調査、研究活動に関する事項	1
3. 年金制度・年金運用等に関連するシンポジウム等の開催に関する事項	1
4. 年金制度・年金運用についての情報提供活動に関する事項	4
5. 会員制度の運営に関する事項	4
II 業務の概要	5
1. 社員に関する事項	5
2. 役員等に関する事項	5
3. 附属明細書	6

I 事業の概要

1. 事業に関する事項

今年度は4月の天皇の退位、5月の新天皇の即位そして元号が平成から令和に代わり、消費税が8%から10%に引き上げられ、社会的に大きな動きがあった年度となった。また、台風19号による豪雨災害が起こり、多くの河川が氾濫し、多大な被害が出た年度でもあった。国際的には米中の貿易対立が激化し、日韓関係の悪化が大きくなった。年金の分野では、第2回給付水準のマクロ経済調整が行われ、さらに年金の財政検証が実施された。この財政検証では、「経済成長と労働参加を促進することが年金の水準確保のために重要である」こと、「適用拡大は所得代替率や基礎年金の水準確保に効果が大きい」こと、「就労期間、加入期間を延長することや繰下げ受給を選択することは、年金水準の確保に効果が大きい」ことなどが示された。当研究所もこのような動きを受け、「超長寿社会に向けた年金制度の再構築」の研究を推進し、30年後、40年後を見据えた年金制度について議論を進めた。また、雇用形態が多様化していることを受け、「雇用形態多様化社会に向けた年金制度」の研究も合わせて行った。

2. 年金制度・年金運用に関連する情報の調査、研究活動に関する事項

2.1 研究会活動

- (1) 年金財政シミュレーションツールの開発に向けた研究
- (2) 超長寿社会及び雇用形態多様化社会に向けた年金制度再構築
サブテーマ1. 超長寿社会に向けた年金制度再構築
サブテーマ2. 多様な雇用形態に対応する年金制度
- (3) 老後生活保障のための投資家保護と年金積立金運用における金融仲介の健全性

3. 年金制度・年金運用に関連するシンポジウム等の開催に関する事項

3.1 シンポジウム（敬称略）

(1) 第17回 シンポジウム

令和元年9月24日（火）霞が関ビル1階の「31Builedge 霞が関プラザホール」において、『2019(令和元)年財政検証を考える』と題したシンポジウムを開催した。

○ 講演

『2019(令和元)年財政検証』

厚生労働省 年金局 数理課長

山内 孝一郎

(2) 第18回 シンポジウム

「年金の日（11月30日）」にちなみ、令和元年11月26日（火）霞が関ビル1階の「31 Builedge 霞が関プラザホール」において、『「人生100年時代」の暮らしを支えるための自助・共助—公的年金と「自助努力の場」としての金融・運用—』と題したシンポジウムを開催した。

○ 講演1：問題提起

『老後の不安と公的年金保険制度』

大妻女子大学短期大学部 教授

玉木 伸介

○ 講演2

『人生100年時代の老後と金融業の関わり方』

株式会社大和総研 理事長

前日本銀行副総裁

中曾 宏

【パネルディスカッション】

『公的年金と「自助努力の場」としての金融・運用』

株式会社久保総合研究所 年金数理人

久保 知之

年金総合研究所評議員・主席研究員

佐野 邦明

みずほ総合研究所株式会社 副理事長

高田 創

株式会社大和総研 理事長

中曾 宏

(3) 大阪第5回 シンポジウム

令和元年9月25日（水）大阪国際会議場において、『2019（令和元）年財政検証を考える』と題したシンポジウムを開催した。

○ 講演

『2019（令和元）年財政検証』

厚生労働省 年金局 数理課長

山内 孝一郎

3.2 その他

(1) 二水会

各界有識者を招きメディア関係者向け勉強会を8回開催した。

開催日	題目	講師（敬称略）	
第55回 平成31年4月24日	『次期年金制度改革に向けて』	厚生労働省 年金局年金課長	伊澤 知法
第56回 平成元年6月13日	『我が国の医療保険の現状と課題』	厚生労働省 保険局長	樽見 英樹
第57回 令和元年7月30日	『2040年を見据えた改革』	厚生労働事務次官	鈴木 俊彦
第58回 令和元年9月18日	『年金財政検証と次期制度改革に向けて』	厚生労働省 年金局長	高橋 俊之
第59回 令和元年10月9日	『日本年金機構の10年』	日本年金機構理事長	水島藤一郎
第60回 令和元年11月13日	『超長寿社会に向けた年金制度再構築』	東京大学 名誉教授	宮島 洋
第61回 令和元年12月19日	『年金制度改正と財政検証』	厚生労働省 年金局 数理課長	山内孝一郎
第62回 令和2年1月15日	『企業年金・個人年金の制度改正の方向性』	厚生労働省 年金局 企業年金・個人年金課長	吉田 一生
第63回 令和2年2月14日	『多様な雇用形態に対応する年金制度』	慶應義塾大学 教授	山田 篤裕

4. 年金制度・年金運用等についての情報提供活動に関する事項

4.1 年金財政シミュレーションツールの使用

新たな財政検証が公表されたことを受け、一旦使用中止とした。

4.2 情報サイト「年金ペディア」の運営

○令和2年3月31日現在のアクセス数

アクセス人数 : 221,493名

のべアクセス回数 : 244,598回

4.3 シンポジウム講演録の作成／配布

下記のシンポジウム講演録を作成し、講師、後援団体、会員、評議員、主だった研究員に配布した。

○ 第17回シンポジウム講演録及び大阪第5回シンポジウム講演録
『2019(令和元)年財政検証』

4.4 ニュースレターの発行

○ 令和元年9月24日

第17回シンポジウム 『2019(令和元)年財政検証』の報告

○ 令和元年9月25日

大阪第5回シンポジウム 『2019(令和元)年財政検証』の報告

○ 令和元年11月26日

第18回シンポジウム 『「人生100年時代」の暮らしを支えるための自助・共助』の報告

5. 会員制度の運営に関する事項

各界有識者を招いてのシンポジウム等のイベントの案内、シンポジウムの講演録、関連書籍の提供及び年金を中心とする社会保障関係全般の情報を共有。

(令和2年3月31日現在会員数 : 22名)

Ⅱ 業務の概要

1. 社員に関する事項

(令和2年3月31日現在)

区 分	社員数	備 考
社員	3	設立時より増減無し

○社員総会の開催 (1回)

第12回：令和元年5月29日(水)に開催

2. 役員等に関する事項

(1) 理事・監事

(令和2年3月31日現在)

役 職	氏 名	分 属
理 事 長	坪野 剛司	日本年金数理人会 顧問・評議員
副理事長	横山 竜也	株式会社CAC クロア執行役員・創薬事業担当
専務理事	近藤 師昭	日本年金数理人会 相談役・評議員
理 事	上松 幹雅	株式会社CACHoldings 経営管理部法務コンプライアンス担当部長
理 事	岡本 隆	年金総合研究所事務局長
監 事	堀内 徹	株式会社CAC Holdings 経営管理部長

理事 5名 監事 1名

○理事会の開催 (14回)

第95回 平成31年4月10日(水)

第96回 平成31年4月17日(水)

第97回 令和元年5月29日(水)

第98回 令和元年5月29日(水)

第99回 令和元年6月12日(水)

第100回 令和元年7月10日(水)

第101回 令和元年8月14日(水)

第102回 令和元年9月11日(水)

第103回 令和元年10月9日(水)

に開催

第104回 令和元年11月13日(水)

第105回 令和元年12月11日(水)

第106回 令和2年1月15日(水)

第107回 令和2年2月12日(水)

第108回 令和2年3月13日(金)

(2) 評議員 (50 音順)

(令和 2 年 3 月 31 日現在)

氏 名	現 職
猪熊 律子	読売新聞社 編集局 編集委員
逢見 直人	日本労働組合総連合会 (連合) 会長代行
沖田 俊幸	元ライフネット生命保険株式会社 保険計理人
梶本 章	一般社団法人 医療介護福祉政策研究フォーラム 理事
加藤 丈夫	独立行政法人国立公文書 館長
加藤 肇	株式会社 C A C クロア 代表取締役社長
京極 高宣	社会福祉法人浴風会 理事長
酒井 英幸	全国生活協同組合連合会 理事長
佐野 邦明	公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構監事
椎野登貴子	社会保険労務士法人レガリート
田川 勝久	企業年金連絡協議会 理事長
堀 勝洋	上智大学 名誉教授
宮島 洋	東京大学 名誉教授
山田 正次	前 Northern Trust エグゼクティブ・アドバイザー
吉原 健二	日本医療経営実践協会代表理事
渡辺 俊介	国際医療福祉大学大学院 教授

評議員 16 名

○評議員会の開催 (3 回)

第 23 回 : 令和元年 6 月 6 日 (木)

第 24 回 : 令和元年 10 月 17 日 (月)

第 25 回 : 令和 2 年 2 月 14 日 (金)

に開催。

3. 付属明細書

特に記載すべき重要な事項はありません。